



1/31 (金) 探究活動合同発表会

大子町文化福祉会館「まいん」にて、探究活動合同発表会が開催されました。本校の農林科学科、総合学科、福祉系列の生徒たちが、それぞれの探究活動の成果を発表しました。本校では、地域の課題を発見し、それを解決するための学びを深める「探究的な学び」を大切にしています。この発表会では、各学科の生徒が地域と関わる実践的な取り組みを紹介し、学びの成果を披露しました。

農業科学コースからは、地域資源を活用した 6 次産業化への挑戦が発表されました。地元の特産品であるこんにゃくを栽培し、加工・販売までを一貫して行うプロジェクトに取り組んだ彼らは、伝統的な製法と工場での生産技術を組み合わせ、生芋の風味を生かしながらも安全で品質の安定したこんにゃくを製造しました。地域特産品の新たな可能性を見せてくれました。

森林科学コースからは、「家の構造を学ぶ」ことを目的に、木造軸組み模型の制作についての発表がありました。設計から完成まで約 8 か月をかけ、細部にこだわりながら、建築の基礎を学びました。

総合学科 2 年生は、「未来探究」における地域おこし弁当の開発についての報告を行いました。地元の飲食店と協力し、観光客や地域住民に地元の食材を活用した弁当を提供して、地域の魅力を発信することを目指しました。今後は、販売の継続性や価格調整などの課題を克服しながら、さらなる発展を目指していく予定です。

福祉系列からは、介護老人保健施設「温泉リハビリセンター虹の丘」での実習報告が行われました。傾眠傾向や帰宅願望等、一人ひとりに適した支援の重要性を学び、認知症ケアの難しさややりがいを実感しました。

それぞれの発表から、生徒たちが地域と関わりながら学びを深めてきたことが伝わってきました。生徒たちは、机上の学習にとどまらず、地域社会と連携しながら実践的な学びを積み重ねています。



1/22 (水)「ワールドキャラバン」国際理解教育

1年生を対象に「ワールドキャラバン」による国際理解教育を実施しました。ニュージーランドとタイ出身の留学生親善大使を迎えてのプレゼンテーションと、グループに分かれてディスカッションを行いました。本校の生徒たちにとって、身近な外国人といえばジャマイカ出身のALTですが、それ以外の国の、しかも同年代の相手と国際交流を行うという得難い経験となりました。



1/31 (金) 進路縦割りホームルーム

探究活動合同発表会に続いて、進路縦割りホームルームを行いました。

1年生は一斉形式、2年生は大学・短大、専門学校、公務員、民間企業に分かれて分散形式で行い、就職や進学に向けて励んできた3年生が、自らの経験を下級生に伝えました。各自の体験に依拠した内容を盛り込み、スライドにも各人の個性と工夫が見られました。下級生にとっては、先輩たちの体験から直接学ぶ貴重な機会となりました。



2/4 (火) 依上小学校福祉体験授業

依上小学校の4年生が本校へ来校し、福祉系列の授業を体験しました。車椅子の体験、ゴーグルを使った視覚障害の体験などを、本校の教職員と福祉系列の2年生と一緒にを行いました。様々な体験活動に興味を持って取り組んでくれた小学生たちはもちろんのこと、本校の生徒たちにとっても、普段の学びを小学生に伝える貴重な機会になったことでしょう。

